



# アイル、ESGの国際基準を満たす日本株のインデックス 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄 に選定



ESGの国際基準を満たす  
日本株のインデックス  
「FTSE Blossom Japan  
Sector Relative Index」  
の構成銘柄に選定。

企業の経営力や働く人の士気向上を、自社システムで支援する株式会社アイル（本社：大阪市北区・東京都港区、代表取締役社長：岩本哲夫、東証プライム：3854）は、ESG（環境、社会、ガバナンス=企業統治を考慮した経営活動）における取り組みが評価され、グローバルインデックスプロバイダーの FTSE Russell 社が 2025 年 6 月に発表した ESG インデックス（※1）、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。

代表的な ESG 評価機関による、ESG の国際基準を満たす日本株のインデックスで、セクター（業種）ごとに ESG スコアが相対的に高い銘柄が選定されています。世界最大規模の運用資産額を有する、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が投資判断の1つに採用しています。

今後も企業価値の向上と、さらなる社会貢献に向け ESG に取り組んでまいります。

（※1）インデックス…投資・金融市場における指数で、一定基準に従い計算し、株式の相場を示す数値

## 【「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」について】

グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell により構築された「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス（ESG）の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラル（※2）となるよう設計されています。

また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコア（※3）により改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

当インデックスは、世界最大規模の運用資産額を有する、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が投資判断の1つに採用しています。

FTSE Blossom インデックス・シリーズ詳細：<https://www.lseg.com/ja/ftse-russell/indices/blossom-japan>

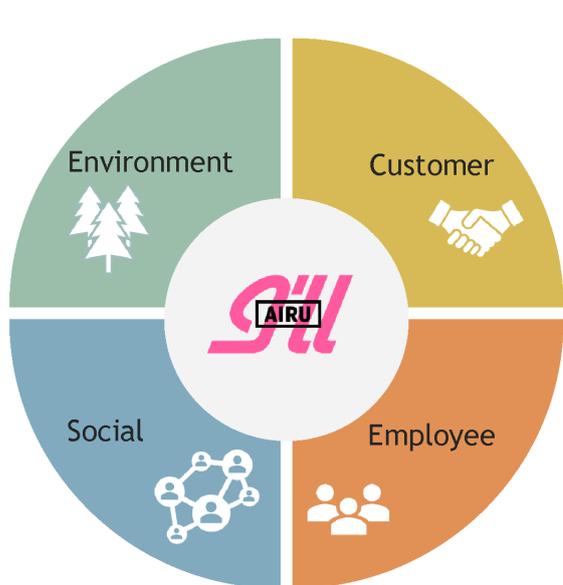
(※2) セクター・ニュートラル…業種の偏りを最小限に抑えるため、親指標である日本株全体の時価総額加重インデックス「FTSE Japan All Cap Index」の業種比率が考慮されている。

(※3) TPI 経営品質スコア…企業の温室効果ガス排出量や、低炭素への移行に関連する対応の質を評価したものを。

## 【アイルの ESG における取り組みと評価について】

当社は企業ポリシーに「FREE, LOVE&DREAM」を掲げ、誰もが働くことや生活に喜びを感じられる社会の実現に寄与すべく活動しています。IT サービスで企業の経営を支援する事業の発展とともに、社員が心身ともに健康的に働ける社内環境の整備、社会課題の解決につながる支援・啓蒙活動、自然環境の配慮・改善などに努めています。

ステークホルダーとの“長いお付き合い”で持続可能な成長へ



### with Customer

- 企業の基幹業務にかかわるからこそ、将来にわたる長い取引を意識
- 本当の意味での「信頼関係」を築くために、言うべきことを言い合える関係作りを重視
- 業務効率化だけではなく、顧客の将来をともに考え提案することを意識
- 常に顧客へ新しい価値を提供できるよう、製品は常にブラッシュアップを図る

### with Employee

- 「ノウハウ=社員」が一番の強みのため、子育て・介護などライフステージが変わっても長く働くことができる環境を整備（働く場所・時間を自由に選択可能）
- 社員が心身ともに長く健康でいれることをサポート
- 社員が会社を信頼し、力を発揮できるように月報会議など経営の透明性を維持

### with Social

- 継続した成長を実現することで、企業価値を向上
- 本業での社会貢献はもちろんのこと、それ以外の部分でも社会問題の解決に対して積極的に取り組む
- 中長期的で応援して下さる方々に、還元していけるように取り組む

### with Environment

- ソリューションを通じた在庫ロスの削減と循環型社会の構築を目指す
- IPCC1.5°C目標の実現のため、再エネ化など2050年GHG排出量ネットゼロに向けた取り組みを継続

アイルのサステナビリティについて

このたびの FTSE Russell 社による当社の ESG スコアは、特に「社会（労働基準／人権と地域社会／健康と安全／顧客に対する責任／サプライチェーン）」における取り組み指数「Social Score」が、前回と比較し高く評価されました。

「人権に関する基本方針」や「カスタマーハラスメント対応方針」の策定・開示と社内教育などに努め、より一層の意識改革に取り組んだ結果が評価されたと考えられます。

引き続き誠実な事業活動と社内風土の維持に努め、企業価値の向上とさらなる社会貢献に向け取り組んでまいります。

## < ESG における取り組みの詳細・開示資料 >

人権に関する基本方針 [https://www.ill.co.jp/human\\_rights\\_policy/](https://www.ill.co.jp/human_rights_policy/)

カスタマーハラスメント対応方針 [https://www.ill.co.jp/customer\\_harassment\\_policy/](https://www.ill.co.jp/customer_harassment_policy/)

その他投資家向け情報 <https://www.ill.co.jp/ir/>

## アイルについて

企業の販売・在庫管理を担うバックオフィスや、EC サイト・店舗運営のバックヤードなど、企業活動の根幹となるバックサイドの業務プロセス変革を支援しています。

さらに働く人に光を当て、誰もがクリエイティブな仕事と豊かな生活を実現し、働く日々に喜びを持てる社会実現を目指し、サービス開発・強化やイベント企画、協賛活動に努めています。

社内では各々が自律して責任を持ち、自発的に業務に取り組めるよう、社員の声を取り入れた環境整備に注力しています。

## 会社概要

社名 : 株式会社アイル (東証プライム : 3854)  
代表者 : 代表取締役社長 岩本哲夫  
設立 : 1991 年  
資本金 : 3 億 54 百万円 (2024 年 7 月末時点)  
社員数 : 1008 人 [連結] (2025 年 4 月 1 日時点)  
売上高 : 175 億 8 百万円 [連結] (2024 年 7 月期実績)  
本社 : 大阪本社 : 大阪市北区 / 東京本社 : 東京都港区  
URL : <https://www.ill.co.jp/>

## お問い合わせ

報道関係者さま向けのお問い合わせ先  
株式会社アイル 広報担当 : 吉野 (よしの)  
TEL : 070-7607-2538 / E-MAIL : [info@ill.co.jp](mailto:info@ill.co.jp)

